

令和6年度 相馬市外部評価委員会 市事務事業の外部評価結果

【評価点】 7名の委員が事務事業ごとに事業の妥当性（必要性）や効率性（有効性）などについて5点満点で評価したものの平均点数。	【A評価 5事業】 事業は必要かつ有効であり推進することが妥当	（評価点 4.0以上）
	【B評価 15事業】 事業の改善を図りながら継続することが妥当	（評価点 3.0～3.9）
	【C評価 0事業】 事業の一部修正・再検討（事業内容・手法・規模・実施主体等）が必要	（評価点 2.0～2.9）
	【D評価 0事業】 事業の見直し・休止・廃止について検討が必要	（評価点 1.9以下）

No.	事務事業名	点数	評価	コ メ ン ト
1	子育て支援活動の充実	3.9	B	子育て支援活動やイベント内容の充実を図るとともに、必要な方に確実に情報が行き届くよう、周知方法について継続的な改善をお願いします。 子育てを地域全体で支えていくための機運を醸成し、市民や市外からも子育てしやすい地域として認識されるよう、市の取り組みや目標に関する情報発信を強化してください。 併せて、現場を担う保育士不足を解消するための対応をお願いします。
2	健康づくりの情報発信と意識の向上	3.7	B	市の健康指標は県内でワーストクラスであり、健康づくりのきっかけとして、多くの市民が気軽にかつ継続的に取り組むことが必要です。 本事業の利用率を上げるためには、利用者にとってのインセンティブを高めることが求められますが、事業者への協力依頼を中心としたこれまでのアプローチではいずれ頭打ちになると思われるので、地域での声掛けによりお互いの健康意識を高めあうなどのアプローチも検討願います。
3	市税収納率向上	4.0	A	収納率をさらに高めるために、納税の持つ意味や公平な税負担について、市民が理解を深めるような情報発信に努めてください。 また、税の公平性を保つため、滞納者への厳格な対応とともに、一人ひとりの経済状況に応じた解決策を提示するなど、丁寧な対応をお願いします。 併せて、課税内容や納期に関する分かりやすい説明や、電子納付方法の拡充など、納税しやすい環境を整備して、さらなる収納率の向上を目指してください。
4	ノーマライゼーションの理念の更なる普及・啓発と相談支援の充実	3.6	B	誰もが安心して暮らすことができ、活躍できる相馬市であるために、市民全体で障がいのある方の暮らしを守っていく必要があります。 そのために、講演会や研修会の継続的な実施や、学校への出前講座などを通じて、市民がノーマライゼーションの理念を共有し、手話や点字など、様々な事柄に幼児のうちから触れることができる環境の実現に努めてください。
5	各地区の生活道路の整備	3.9	B	生活道路や歩道の整備は、通学・通勤や買い物・通院など、市民の日常生活の利便性や、災害発生時の避難道路の確保のために極めて重要な事業です。 各地区での住民の要望に応えられるよう、引き続き市民の声に耳を傾け、国や県とも連携の上、計画的な整備をお願いします。
6	農産物の安全性のPRと地産地消の推進	3.9	B	今後も引き続き、学校給食でたくさんの地元産食材を使用し、児童生徒に地元産農産物に親しんでもらうとともに、地産地消を推進してください。 また、道の駅や浜の駅などの施設の活用や、JAとの協力体制の強化、地元企業と連携した消費拡大のためのイベントの強化など、消費拡大のための取り組みを検討してください。さらには、全国に向けて、相馬産農産物のPRを行い、風評払拭・消費拡大に努めてください。
7	浜の駅松川浦の増築整備	3.5	B	浜の駅松川浦は、相馬で一番の集客力を持つ観光施設です。増築により施設機能が強化されることは歓迎されますが、市の観光の核として、また市民にも愛される施設として永く継続するためには、物販のみではなく、日常では得られないような体験を提供することが不可欠と考えられます。 併せて、来客者の総合的な満足度を高めるため、今後は店舗周辺の環境整備も含め、おもてなしの体制を築いてください。
8	多様な特別企画講座の開催による学習機会の提供	4.6	A	良質な生涯学習環境の提供は、市民の生きがいや社会参画のきっかけをつくることから、市民満足度を高めるために極めて重要な施策の一つです。 今後も様々な年齢層や、初心者から上級者まで段階的に満足できるカリキュラム構成、地元企業の専門性を活かした連携講座など、幅広い方々が興味を持てるような講座を企画してください。 併せて、多くの市民が情報をチェックしにくくなるような周知方法の工夫をお願いします。
9	スポーツ施設の維持管理と利活用の推進	4.3	A	今後も観光部門と連携して各種大会や合宿の誘致による市外からの利用者増加を図ってください。 また、体育館への空調設備導入の早期実現と、昨今の物価高騰の状況も踏まえた利用料の改定についても検討願います。 持続可能な施設運営のためには、市民の利活用促進や施設管理者の継続的な確保などが課題となります。施設を市民の健康づくりやコミュニティ形成の拠点として捉え、様々なイベントが実施されるよう、企画運営をお願いします。
10	マイナンバーカードの保有率の向上と利用促進	3.9	B	マイナンバーカードの保有は進んできました。今後は、利活用の促進についての取り組みが必要となります。利用することによるメリットが具体的に感じられるような施策を検討してください。 一方で、市民にとっては個人情報の安全性についての漠然とした不安感には十分に払拭されたとは言えない状況です。今後も信頼構築のためのPRをお願いします。
11	特定健康診査受診率の向上	4.2	A	特定検診の受診率向上は、市民の健康寿命延長のため重要な取り組みです。県内でワーストクラスである市の健康指標の周知など、生活習慣病改善の意識付けと共に、SNSの活用や病院・診療所と連携した対象者への情報提供など、効果の期待できる周知施策を検討してください。 また、週末や朝夕の時間帯の拡大など、受診しやすい環境の整備にも努め、受診率向上につなげてください。
12	ごみ減量化再資源化の更なる推進	3.6	B	ごみの分別・減量化・再資源化はSDGsの観点からも重要なことであり、市民一人ひとりの行動変容が必要となることから、あらゆる機会を利用し市民への啓発活動を続けてください。 また、不用品を譲渡リユースすることは、ごみの減量につながります。リユースを促進するための仕組みの整備をお願いします。 ごみ出しのマナー改善と分別徹底のため、指定ごみ袋の使用を推奨し、また、ごみ処理の有料化については、近隣自治体の動向を踏まえつつ、必要性について検討を重ねてください。
13	事業検証等による歳出削減を通じた財政健全化の推進	4.2	A	財政調整基金の30億円堅持という目標は、物価高や経済情勢等により、適正値が変動する可能性があるため、定期的な見直しを行ってください。 今後も既存事業の積極的な見直しを行い、財政健全化を図りつつ、市民サービスの低下を招かないよう留意してください。また市政において必要な投資や子供たちへの投資などは惜しむことのないよう、歳入・歳出のバランスを適切に管理してください。
14	公共交通の現状分析と改善素案の作成	3.4	B	おでかけミニバスは利用率や利便性の面での課題があり、抜本的な改善が必要と思われます。今後ますます増加が見込まれる、自由な移動手段を持たない市民に対して、行政のサポートが必要です。 利用者や関係者の声を聴き、丁寧な調整を行い、適切な移動手段を提供できるよう事業を進めてください。 また、国の動向や他自治体の先進事例を注視し、ライドシェアの導入や自動運転車導入を適切に進めるための準備をお願いします。
15	介護予防の推進と介護人材の確保	3.8	B	高齢化率の上昇が見込まれる中、介護人材の確保は重要な課題です。 人材確保のためには、介護人材の「処遇」と「やりがい」を共に高めるような施策が求められます。また、研修に参加しやすくなるような環境の整備や、男性の参加を増やすための工夫をお願いします。 今後も、骨太けんこう体操をはじめとした介護予防策の推進と、介護人材教育を両輪で推進してください。

No.	事務事業名	点数	評価	コ メ ン ト
16	継続的な歴史資料の展示と資料の保護、保存	3.9	B	相馬地方の歴史と文化の継承のために、今後も丁寧な資料の収集、保護、保存に努めてください。 歴史資料収蔵館が相馬の観光コースの一つとなるよう、展示物のデジタル化やVRによる展示など、見せ方に関する改善も期待します。また、パンフレットの多言語化や内容の随時見直しを行ってください。 歴史資料の取り扱いには専門的な知識を要する分野であることから、学芸員の配置と人材の育成について配慮をお願いします。
17	市民会館の利活用促進	3.6	B	市民会館は市民の大切な財産です。十分な利活用がなされるよう、継続的な評価・改善を行いながら運営にあってください。 音響・照明設備の取り扱いについては、来客者の満足度や評判に大きく影響する部分ですので、職員の技術向上も含めしっかり取り組んでください。 今後も、地元のニーズに合った様々なイベントを柔軟に企画し、利活用に努めてください。
18	授業の質的改善と家庭学習の充実	3.8	B	子どもたちは相馬の将来の宝です。子どもたちに将来必要となる基本的な力をつけるため、教育環境の整備、教員の指導力向上、家庭学習の実施指導をお願いします。 ICTを活用した教育が普及してきた現代においても、字を書くこと・読むことによる学習には普遍的な効果があると思われますので、今後も大切に、継続してください。 家庭学習やそれ以外の面でも保護者の悩みや苦勞も様々あるかと思われますので、保護者のサポートの充実についても検討願います。
19	行政区の運営についての検討と加入促進	3.5	B	行政区加入率向上に向けた課題として、地域の草刈りや街灯の維持などの受益と負担に関する整理と、回覧板や役員事務等の負担の軽減が挙げられます。 行政区の持つ役割や必要性、時代に即した運営方法など、改めて整理をすべき時期に差し掛かっていると思いますので、加入者・未加入者双方の様々な意見を踏まえ、自分たちの住む地域をどうしたいか、どのように守るかといった話し合いの場を持つことを期待します。
20	人材の育成	3.6	B	急速に変化する情勢、市民ニーズに臨機応変に対処・対応でき、意欲の高い人材を育成するため、人事評価制度や研修制度の整備に努めてください。 また、業務能力だけでなく、市民対応についても、常に明るい雰囲気窓口となるよう意識し、職員の対応能力を向上するための取組みをお願いします。 窓口対応については、外部の目で客観的に評価する仕組みも有効と思われるので、検討をお願いします。